

## 教育学院 教育学専攻 アセスメント・チェックリスト

## 教育学院教育学専攻の学位授与水準(DP)

DP1	教育学に関する幅広く高度な知識と技能が身についている。
DP2	人間発達の仕組みとそれを保障する社会の仕組みについて総合的に理解することができる。
DP3	人間発達と教育に関する理論的・実践的課題の解決に取り組む研究を行う能力を有している。
DP4	人間発達と教育に関わる高度な専門性を有する職業を担うことができる能力を有している。
DP5	人間発達と教育に関する幅広く高度な知識・技能が身についている。
DP6	教育学の各専門分野において自立的に研究を行い、教育学の発展に寄与できる研究能力を有している。
DP7	人間発達と教育に関する理論的・実践的課題の解決に貢献できる研究能力を有している。
DP8	自らの研究を活かして人間発達と教育に関わる高度な専門性を有する職業を担うことができる能力を有している。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者
1	授業アンケート	1月	毎年	(修士)1年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙	学生	結果を学内に公表し、教員に教育方法改善の指針を与える。	教育学院
2	成績評価	4月、9月	毎年	(修士)1～2年生	・成績の点検	履修指導時に点検する	各指導教員	成績をもとに履修指導を行う。	教育学院
3	大学院生調査	随時	1年に1回	(修士)1～2年生 (博士)1～3年生	・学習状況 ・コンピテンシーの習熟度	Webアンケートシステム	学生	教職員に開示して今後の教育制度改革参考とする。	総合IR室
4	修了時調査	2～3月	毎年	(修士)2年生 (博士)3年生	・カリキュラム、研究指導の満足度等	質問紙	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	教育学院
5	企業等調査 (就職先調査)	1～3月	3年に1回	修了生の就職先	・企業等からのアドバイス	質問紙	企業等の職員	評価に基づき、カリキュラム改革を検討する。	総合IR室
6	DPIによるカリキュラム点検	随時	2年に1回	カリキュラム	・DPを実現できるカリキュラムになっているかの点検	ナンバリング、カリキュラムマップなどによるDPとカリキュラムの相互参照	教育学院教務委員	DPとカリキュラムのバランスが悪い場合はいずれかを調節する。	教育学院